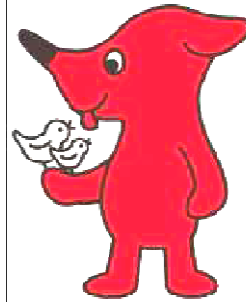


## 千葉県版遠隔地退院支援事業 (案)



### 目的

精神障害のある人で、さまざまな事情により生活していた場所から遠く離れた場所(遠隔地※<sup>1</sup>)で入院を余儀なくされた人のうち、以前生活していた地域へ退院を希望する人の退院支援を行う。

※<sup>1</sup>障害保健福祉圏域外をさす。

※陰のある部分の全てを満たす人が対象



## 例えばどんな人が対象に？

市場花子さんの場合

市川市の自宅から、親戚が住んでいた南房総市にある安房精神科病院に16年前※<sup>2</sup>から入院。入院中に両親が亡くなり、親戚とも疎遠となり、支援してくれる家族がいなくなりました。

自宅のあった市川市に帰りたい！→対象になる

※<sup>2</sup>支援対象者は1年以上の入院者を中心

## この場合はどうなる①

市原けいこさんの場合

市川精神科病院に入院している。入院前は、実家のある千葉市で母親と生活していました。母親が亡くなってしまい、南房総市に嫁いだ姉が退院に力になると言ってくれています。

姉が住む南房総市に退院したい！

→対象ではない。

※以前住んでいた地域への退院ではないため

## この場合はどうなる②

○船橋ひろしさんの場合

現在、安房精神科病院に入院中。入院前は、市川市に長く住み仕事をしていた。実家は、東京にあり、高校卒業まで暮らしていた。

東京に退院したい！→対象にならない。

※他県なので。

市川市に退院したい！→長く※<sup>3</sup>住んでいたことがわかり、本人が帰りたい理由が明白であれば対象になる可能性が高い

※<sup>3</sup>長くとはどの程度を指すことにするか

## この場合どうなる③

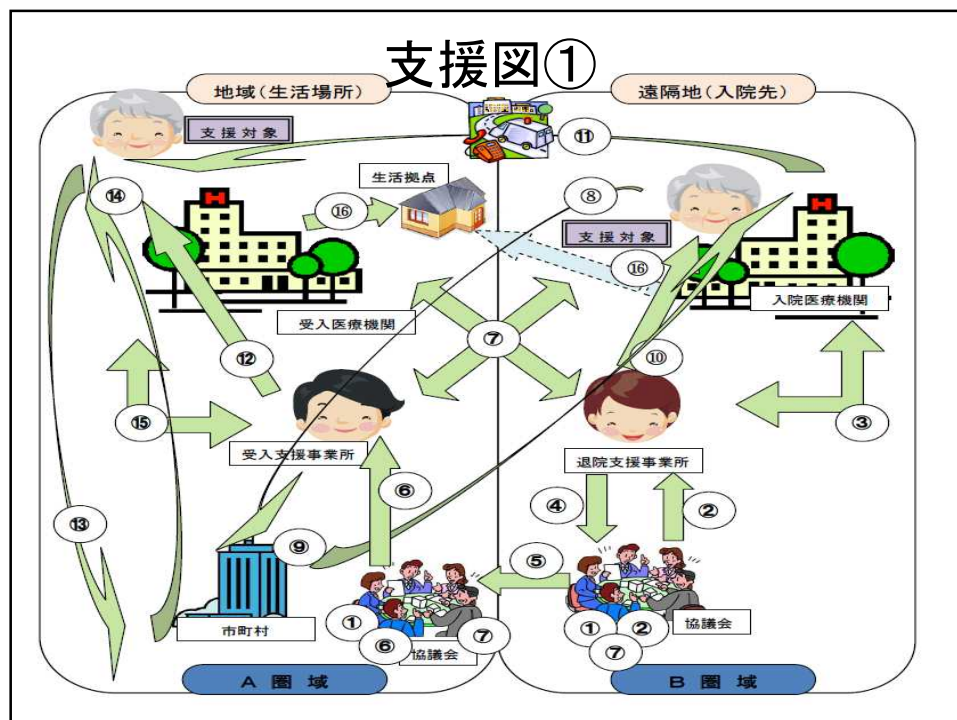
四街道たかしさんの場合

市川市の自宅から安房精神科病院に入院して20年。その間、両親は亡くなり住んでいた自宅も兄弟が売ってしまいました。そのため、住民票は安房精神科病院にあります。

地域で生活していたのは、20年も前だけど住み慣れた懐かしい市川市で生活していきたいです。  
→対象になる。

住所地特例で、市川市が支給決定をする。

# この場合どうなる



具体的な事例を見ながら  
流れを紹介します。



## 登場人物 紹介

### 《主人公》

私は、市場花子と言います。58歳の女性です。市川市の自宅から、親戚が住んでいた南房総市にある安房精神科病院に入院して16年になります。初めはすぐに退院するつもりでしたが、入院中に両親が亡くなり、親戚とも疎遠となり、支援してくれる家族がいなくなりました。

できれば、住み慣れた市川市に  
帰りたいと思ってます。



登場人物 紹介  
《安房圏域にいる支援者のみなさん①》



鈴木PSW  
市場花子さん  
の担当PSW



佐藤院長  
市場花子さん  
の主治医

安房精神科病院の支援者  
入院医療機関

登場人物 紹介  
《安房圏域にいる支援者のみなさん②》



高橋PSW  
市場花子さんの安房  
圏域での地域移行  
支援の担当

安房相談支援事業所の支援者  
退院支援事業所

登場人物 紹介  
《安房圏域にいる支援者のみなさん③》



田中PSW  
安房圏域連携コー  
ディネーター

安房圏域地域移行支援協議会事務局  
入院医療機関のある圏域の協議会事務局

登場人物 紹介  
《市川圏域にいる支援者のみなさん①》



伊藤PSW  
市場花子さん  
の担当PSW



山本院長  
市場花子さん  
の主治医

市川精神科病院の支援者  
受入医療機関

登場人物 紹介  
《市川圏域にいる支援者のみなさん②》



中村PSW  
千葉太郎さんの市川  
圏域での地域移行  
支援の担当

市川相談支援事業所の支援者  
受入支援事業所

登場人物 紹介  
《市川圏域にいる支援者のみなさん③》



渡邊PSW  
市川圏域連携コー  
ディネーター

市川圏域地域移行支援協議会事務局  
受入医療機関のある圏域の協議会の事務局



## 登場人物 紹介 《市川圏域にいる支援者のみなさん④》



小林さん

市川市役所 障害福祉課※4

※4住所地特例のため、以前住んでいた市川市が支給決定の対象となる

### 地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)(案)

#### 1. 対象者

(地域移行支援)

- 法 ○ 障害者支援施設、のぞみの園、児童福祉施設又は療養介護を行う病院に入所している障害者  
※ 児童福祉施設に入所する18歳以上の者、障害者支援施設に入所する15歳以上の障害者みなしの者も対象。
- 法 ○ 精神科病院(精神科病院以外で精神病室が設けられている病院を含む)に入院している精神障害者。  
→ 長期に入院していることから支援の必要性が相対的に高いと見込まれる1年以上の入院者を中心に対象。  
1年未満の入院者は、特に支援が必要な者(措置入院や医療保護入院から退院する者で住居の確保などの支援を必要と地域移行支援を行わなければ入院の長期化が見込まれる者など)を対象。  
※ 地域移行支援の支給決定主体は、現行の障害者支援施設等に入所する者と同様に、精神科病院を含め居住地特例を適用。  
(入院・入所前の居住地の市町村が支給決定)

(地域定着支援)

- 以下の者のうち、地域生活を継続していくための常時の連絡体制の確保による緊急時等の支援体制が必要と見込まれる者
  - ・ 居宅において単身で生活する障害者
  - ・ 居宅において同居している家族等が障害、疾病等のため、緊急時等の支援が見込まれない状況にある障害者
- 具体的な対象者のイメージは、施設・病院からの退所・退院、家族との同居から一人暮らしに移行した者、地域生活が不
- グループホーム・ケアホーム、宿泊型自立訓練の入居者については、対象外。

※ 地域相談支援の給付決定に当たっては、障害程度区分認定調査に係る項目を調査(障害程度区分の認定は不要)  
ただし、現行の国庫補助事業支援対象者については調査を実施しないことも可。(更新時は調査が必須)

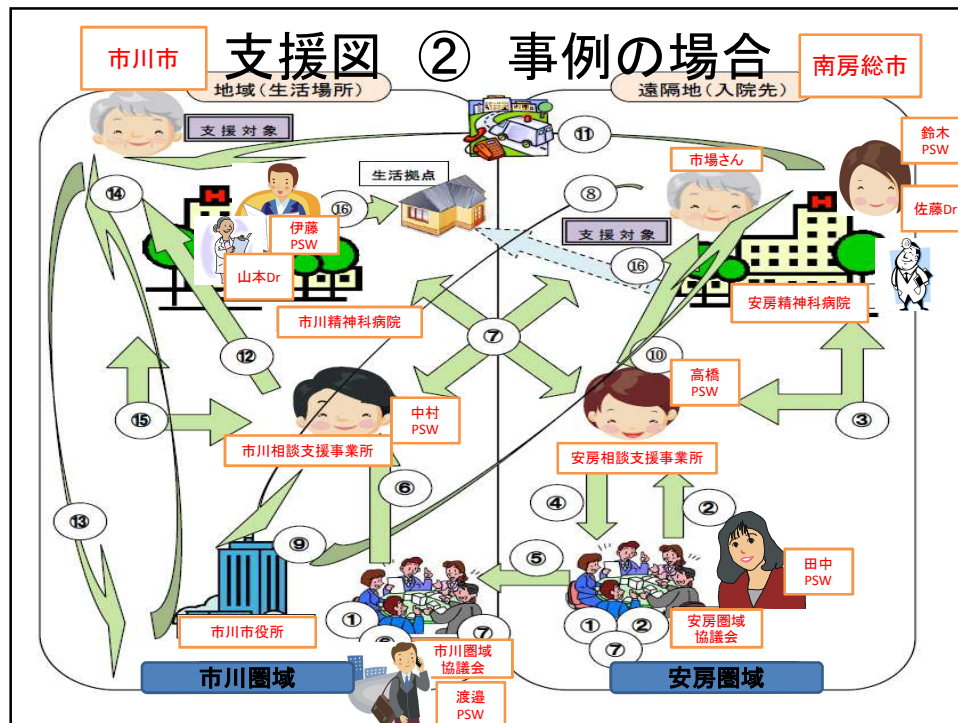
#### 2. サービス内容

(地域移行支援)

- 法 ○ 住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の厚生労働省令で定める便宜を供与。  
→ 「その他厚生労働省令で定める便宜」は、地域移行のための障害福祉サービス事業所等への同行支援等。

(地域定着支援)

- 法 ○ 常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に相談その他の便宜を供与。  
→ 「常時の連絡体制」については、携帯電話による体制によることも可。また、緊急の事態に対して速やかに駆けつけられ  
ることが前提。



市場花子さんが退院するまで



## ①支援対象者の把握

南房総市にある安房精神科病院長の佐藤です。  
千葉県障害福祉課からアンケートが送られてきました。遠方から長期に入院している方の支援を千葉県として取り組むようです。

うちの病院では、市川市から入院している千葉太郎さんや、市場花子さんが対象になりそうですね。

アンケートには2名と記入しましょう。  
地域移行支援協議会に出席している鈴木PSWに話しておきますかねえ。



## ②入院医療機関のある圏域の地域移行支援協議会にて、病院の意向確認・退院支援事業所選定

安房精神科病院のPSWの鈴木です。

今日は安房圏域の地域移行支援協議会に出席しています。

アンケートの結果、院長からも聞いていたけど、うちの病院からは2名の方が対象になるようです。きっと、千葉さんと市場さんのことだろうな。まずは市場さんから支援を始めることになりそう。安房相談支援事業所の方が支援をしてくれることになりました。



## 鈴木PSWが市場さんと面接

協議会からの帰宅後、早速、市場さんに退院についての気持ちを聞いてみました。以前住んでいた市川市に帰りたいみたいです。

前から退院を進めていた  
主治医にも再度確認をして、  
退院の話を勧める了解を  
市場さんと一緒にもらいました。



市場さんに「計画相談支援」と「地域相談支援」について説明しなくちゃ。それに、安房相談支援事業所も手伝ってくれる予定と伝えなきゃね。

## 鈴木PSWと面接後の市場さん



鈴木PSWさんによると、「地域相談支援」では、退院後の住むところや、どんな生活を送るといいのかということの相談にのってくれたり、一緒に外出して利用できそうなところを見せてくれるらしい。

「計画相談支援」では、「地域相談支援」というサービスを使うための「サービス等利用計画」というのを作成してくれるらしい。

とても難しそうだけれども、退院して、そのあと元気に暮らしていくために、色々とお手伝いしてくれるということがわかりました。

### ③退院支援事業所が本人と面接

「安房相談支援事業所の高橋です。  
市場さんの退院のお手伝いが  
できたらと思っています」



「市場花子と言います。退院は、鈴木PSW  
が考えてみたらと言ってくれました。実感  
はわきませんが、以前住んでいた、  
市川市に帰れたら嬉しいです。」



### ④退院支援事業所より圏域内協議会 事務局に報告

「安房相談支援事業所の高橋です。市場さんと  
面接してきました。市場さんは地元の市川市  
に退院したい気持ちがあるみたいです。」



「安房圏域地域移行支  
援協議会事務局の田中  
です。それでは、市川市を管轄する市川圏域  
地域移行支援協議会事務局に  
話をしてみますね。」



⑤入院医療機関のある圏域の協議会事務局から、受入医療機関のある圏域の事務局に連絡

「安房圏域地域移行支援協議会事務局の田中  
です。市川市に退院されたい方がいます。そちらで受入医療機関はありますか？」



「市川圏域地域移行支援協議会事務局の渡邊  
です。今度の地域移行支援協議会で  
検討してみますね」



⑥受入医療機関のある圏域の協議会の場で、病院の意向等確認、退院支援事業所の選定等



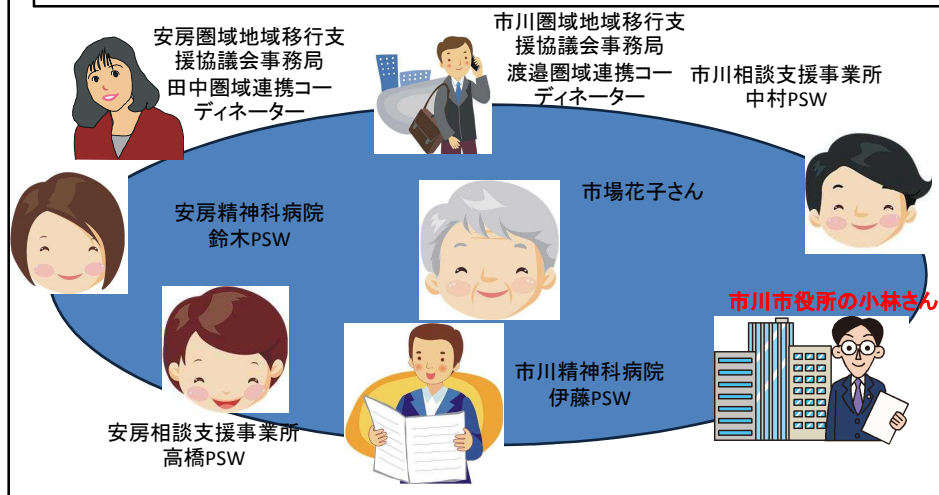
市川精神科病院PSWの伊藤です。  
今日は市川圏域の地移行支援協議会に出席しています。安房精神科病院に長く入院されていた人が、市川市への退院を希望されているため、当院に転院することになりそうです。  
転院後の支援は、市川相談支援事業所が協力してくれるみたいですね。



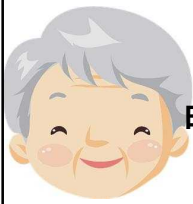


## ⑦ 支援会議の開催

両協議会の事務局、退院支援事業所と受入支援事業所、入院医療機関、受入医療機関とご本人で具体的な退院に向けての話し合い。  
※旅費は地域移行支援事業の一環として、安房圏域地域移行支援協議会事務局



## ⑧ 地域移行支援サービス（個別給付）の申請



鈴木PSWさんに教わり、計画相談支援の申請先の市川市役所にきました。

（一人では不安なので鈴木PSWさんに同席をお願いしました。）

市役所で、地域相談支援を受けて退院したいと言って、申請書に必要な事柄を書きました。

市役所の小林さんには、「認定調査をしますね」と言われました。サービスを使うのは大変だと思いました。



## サービス利用等計画書の作成

市役所の小林さんの調査を受けた後、サービス等利用計画書の作成をしてくれる相談支援事業所を選びました。

鈴木PSWさんとも相談して、支援してくれると言ってくれてた「安房相談支援事業所」にお願いしました。



安房相談支援事業所の高橋PSWさん私の話を親身になって聞いてくれて、サービス等利用計画書を作成してくれました。※サービス等利用計画費 1,600単位/月

## ⑨支給の決定



市川市役所の小林さんから連絡がありました。

地域移行サービスの利用ができるようになりました。

これから、安房精神科病院にいる間は、鈴木PSWと安房相談支援事業所の高橋さんや皆さんが、退院に向けて手伝ってくれるんですね

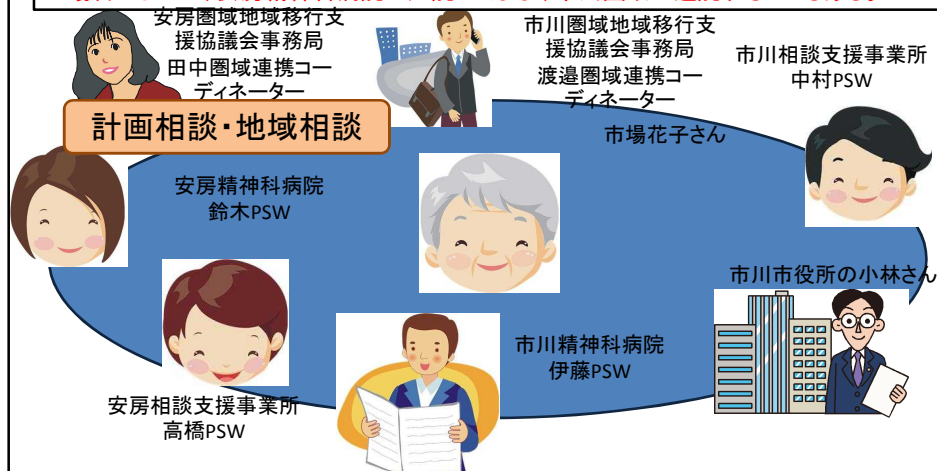




## サービス担当者会議に参加しました。

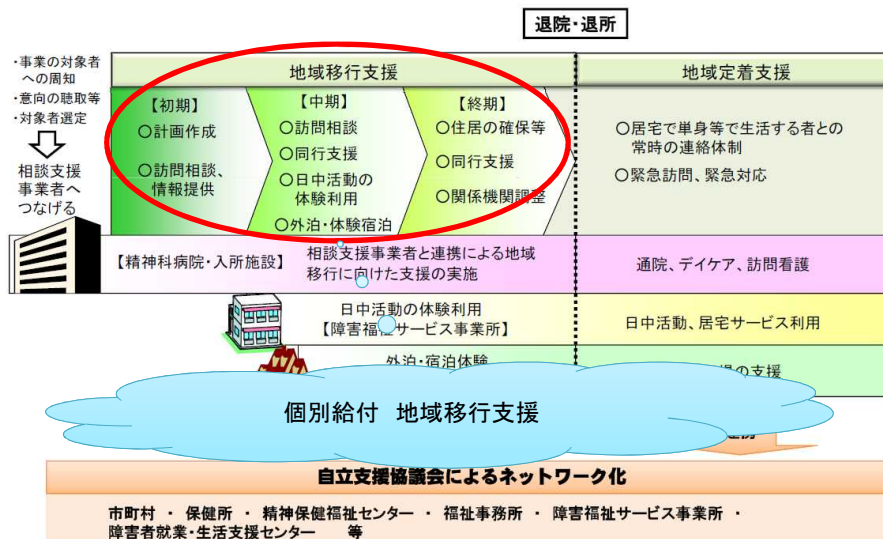
市役所から退院に向けた地域相談のサービスが使えると連絡があり、これからのことを、関係する人たちで話し合うということで、サービス担当者会議に参加しました。

※旅費は地域移行支援事業の一環として、安房圏域地域移行支援協議会事務局  
※場合によって、安房精神科病院に入院したまま、市川圏域に退院することもある。



新

## 地域生活への移行に向けた支援の流れ(イメージ)



## 私の暮らしサービス利用計画表

利用者氏名: 市場花子さん

記入年月日

達成目標

(1)長期目標(内容及び期間等)

精神科病院を退院して、元気に1人暮らしをする。

(2)短期目標(内容及び期間等)

どんなところに住んで、どんな暮らしをしていくかを決める。

ご本人の希望(ニーズ)及び支援計画等

ニーズ	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
住むところを決めたい	グループホームやアパートの見学をします。	1回/2週	高橋 相談支援専門員	3
働く準備をしたい	日中活動や就労準備の施設を見学します。	1回/2週	高橋 相談支援専門員	4
退院後に備えて、日常生活の準備をしたい	生活のスタイルを話し合いながら、日常生活の準備をします。服薬・食事・お金の準備をします。	週3日	医療機関 鈴木PSW・OT	1
友達の話を知りたい	退院した人たちに生活の様子を教えてください。	1回/2週	医療機関 鈴木PSW	1
利用体験や外泊体験をしたい	住むところや、通うところを利用前体験をします。	随時	高橋 相談支援専門員	5

年 月 日

利用者名 市場花子 印

安房相談支援事業所  
相談支援専門員 高橋 印

## ⑩支援開始

### (入院元にて※安房精神科病院)

退院にむけての計画が出来ました。まず、安房精神科病院にいる間にできることとして、服薬管理や、調理のプログラムが始まりました。高橋PSWが、毎回病棟に来てくれます。

計画に沿って一つ一つ頑張れば、退院が近付くんですね！

※地域移行支援サービス費 2300単位/月

(毎月算定。少なくとも月2回以上面接・同行支援)



## ⑪ 支援開始・転院

### 安房精神科病院から市川精神科病院へ



いよいよ、安房精神科病院から、以前住んでいた場所の近くにある市川精神科病院に転院することになりました。市川精神科病院の人たちとは以前会ってるから、緊張はするけど安心です。



## サービス担当者会議に参加しました。

市役所から退院に向けた地域相談のサービスが使えると連絡があり、これからのことを、関係する人たちで話し合うということで、サービス担当者会議に参加しました。

※旅費は地域移行支援事業の一環として、市川圏域地域移行支援協議会事務局



## ⑫受入医療機関にて受入支援事業所が本人と面接



転院して、少しすると、市川相談支援事業所の人が会いに来てくれました。安房相談支援事業所の人たちは、とても遠いので、これからは、市川相談支援事業所の人たちが支援してくれるとのことでした。まだ、手続きが済んでいないので、これから市役所にいかないといけません。市役所も近くなったし、動きやすいな。



## ⑬地域移行支援サービス(個別給付)の事業所の変更申請



伊藤PSWさんに教わり、計画相談支援の申請先の市役所にきました。  
(やっぱり一人では不安なので伊藤PSWさんに同席をお願いしました。)

市役所の小林さんは、すでに詳細を知っていて、事業所の変更の手続きをしてくれました。



## ⑭支給の決定



市川市役所の小林さんから連絡がありました。  
市川相談支援事業所の  
地域移行サービスの利用ができるようになりました。

これから、市川精神科病院の伊藤PSWや市川相談支援事業所の中村さんが、  
退院に向けて手伝ってくれるんですね。



## サービス担当者会議に参加しました。

市役所から変更手続きができたという連絡があり、これからのことを、関係する人たちで話し合うということで、サービス担当者会議に参加しました。

市川圏域地域移行支援協議会事務局  
渡邊圏域連携コーディネーター



市川相談支援事業所  
中村PSW



市場花子さん



計画相談・地域相談

市川精神科病院  
伊藤PSW



市川市役所の小林さん



## ⑮支援開始(体験)



昔住んでいた場所の近くの、グループホームに宿泊体験してきました。※体験宿泊加算(1)300単位/日

やっぱり、一人暮らしをしたい！と思って、中村PSWさんと不動産屋にこれから、行く予定です。その他、生活介護支援や、就労移行支援の体験や見学もしています。

※障害福祉サービス事業の体験  
利用加算300単位・日

※退院月で月6日以上面接・同行による  
支援を行った場合に加算で集中支援加算  
500単位/月



## ⑯退院

鈴木さんに声をかけてもらってから半年後、皆さんの協力を得て、市川市に退院※退院・退所月加算2,700単位/月  
することができました。家は、昔家族で住んでいた地域にあるアパートです。市川精神科病院に通院しながら、地域活動支援センターに通って、そのあと、就労支援を受けられたらなと思っています。





## 退院後も支援してもらっています。



退院し、一人暮らしが始まりました。  
地域定着支援サービスの登録をしてい

たので、困ったことがあった際には中村PSWさんにつ  
ても電話ができます。※地域定着支援サービス【体制確保】300単位/月  
夜間どうしても不安なときも対応※【緊急時支援】700単位/日して  
くれるから、とても安心です。入院生活が長く、色々と  
わからないことが多いので、もう少し※1年以内。更新も可能こ  
のサービスを利用したいと、次のモニタリング※継続サービ  
ス利用支援1,300単位の際にお話ししようと思っています。



新

### 地域生活への移行に向けた支援の流れ(イメージ)

